

～33年間に思いを寄せて～ 幸手市立栄中学校閉校

生徒全員の顔と名前が分かる。

そんな家庭的で温かい栄中学校が、3月31日をもって、33年の歴史に幕を下ろします。今後とも地域のみなさんの温かい見守りをお願いするとともに、これまで学校を支えてくださったすべてのみなさんに感謝申し上げます。

問合せ 学校教育課 ☎(43) 1111 内線 632 ・ FAX (43) 3188

栄中学校のあゆみ

栄中学校は昭和51年4月に、幸手中学校の教室を借用して開校しました。

昭和51年12月に、現在の吉野の地に新校舎が建ち、その後は急激な生徒数の増加が続き、拡張・増築を繰り返しました。昭和61年のピーク時には、生徒数1013名、24学級の大規模校でした。

早苗田かおる 清風
ひときわ輝く 学舎よ
若い生命の 意気高く
知性あふれる 躍動の
栄ある幸手 栄中学校

校歌には開校当時の栄中学校に集う人たちの高い志と気概が伺えます。その思いは「躍動」を校訓とし、今日まで受け継がれ、栄中学校の教育活動の礎となりました。

閉校にともない、記念誌を作成しましたが、10周年、20周年の記念誌もあわせて目を通すと、地域のみなさん、教職員、卒業生、行政関係者が学校に寄せる期待と

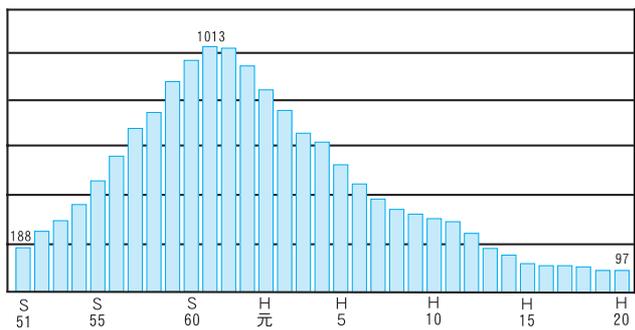
協力を読み取ることができ
ます。

地域と共に

生徒数の減少にともない、地域との繋がりは増していきましました。

体育祭、栄祭、ロードレース大会などの学校行事は、保護者のみなさん、地域のみなさんの協力を得て実施されました。まさに、地域あつての栄中学校でした。

▼生徒数推移表



閉校式典が

行われました

1月18日(日)、栄中学校体育館にて閉校式典が行われました。

秋山眞校長は、困難にくじげず、新しい環境で前向きに課題解決にあたって欲しいと生徒への期待を込めてあいさつを行いました。

また、閉校に伴い閉校記念実行委員会(宮崎尚栄PTA会長)から、団地自治会にAED(自動体外式除細動器)2台、1・2年生に通学用ヘルメットと名札の目録が贈呈されました。

卒業生からのメッセージと33年間の歴史を綴ったビデオの中では、現在3年生の飯吉和花奈さんの詩『思い出の樹(廃校になる母校に寄す)』が朗読されました。

とまり木がなくなる
春になったら
とまり木がなくなる
鳥は飛びたち
残された者は四方に散る
通り慣れたとまり木に



▲閉校式典の様子

鳥たちは戻らずに
またどこか新しい
とまり木を探す
涙を流しても
心の中で叫んでも
とまり木は壊れていく
その現実を
鳥たちは受けとめ
飛びたつ 飛びたつ
このとまり木の
思い出を胸に
鳥たちは 飛びたつ

いつも地域の中に当然の
ようにあつた栄中学校。生
徒の声の絶えなかつた学舎
に、時が止まったような静
寂の時間が訪れようとしてい
ます。

環境だより

問合せ 環境課 ☎(48)0331
FAX (48)2226

家電リサイクル法の 対象機器品目追加

特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)施行令の一部を改正する政令が平成20年12月5日に公布され、4月1日から施行されます。

この施行令改正によって液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類乾燥機が新たに対象品目として追加されます。

※現在は、ブラウン管テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫が対象。

(7) 追加された品目は粗大ごみとして扱ってきましたが、4月1日以降は市では収集・処理できませんので、ご注

意ください。

なお、処分方法は、つぎのとおりです。

【処分方法】

①(買替えであれば)買い替えるする店に引き取ってもらう

②購入した店に引き取ってもらう

③市内家電小売店組合に引き取りを依頼する
いずれの場合も有料になります。

家電小売店組合については、環境課にお問い合わせください。家電リサイクルについては、(財)家電製品協会家電リサイクル券センターのホームページをご覧ください。
(<http://www.rtc.aetha.or.jp/>)

「その他プラ」の 収集状況

平成18年10月から収集を開始した「その他プラ」ですが、今年度は1月までに、648tを、国が指定する機関である日本容器包装リサイクル協会に引き渡しました。3月末までには、770tを超えらると思われま

今年度収集された「その他プラ」(プラスチック製容器包装)は、日本容器包装リサイクル協会の契約先である(株)日本アークシィーズ東港工場(新潟市北区太郎代字山辺856-2)でプラスチック原料化され、公園などのベンチ、杭などに再利用されます。

汚れた「その他プラ」は、途中で除去していきませんが、きれいにしておいてください。他「プラ」も汚してしまうので、混ぜないようにお願いいたします。汚れがとれないものは、燃やせるごみに出してください。

なお、ペットボトルのキャップは、「その他プラ」の一部としてリサイクルしてはいますが、キャップを集め、ワクチンを世界の子どもに寄付するとう運動もあります。詳しくはエコキャップ推進協会のホームページ(<http://ecocap007.com/>)をご覧ください。



きれいに洗ってから
出しましょう!!

人権それは愛



肌寒さのなかにも、だんだんと暖かさを感じる季節。

この頃は、桜が咲くのを前に卒業、進級、就職など人生の節目を迎える時期であり、別れや新たな出会いを私たちは多く経験する時期でもあると思われま

「多くの涙もあり、そして笑顔もあり。」

そんな光景をみていると、『ああ、本当に人として生まれてよかったなあ。』とみなさん感じませんか。

しかし、最近では突然のリストラにより職や住まいを失ってしまった人や採用の内定を取り消されてしまった人また、子が親を殺してしまうなど、悲しい事が後を絶ちません。

社会や経済の不安がつづくとなりの気持ちも不安定になり、真っ先に“弱い”立場にある人たちへの虐待や差別といった人権侵害が多く起きてしまうのはたいへん残念なことであり、決して許されることではありません。

誰もが幸せに暮らせるよう、お互いを思いやり、尊重しながら共に生きる社会を築き、それぞれの春の訪れを待ちたいものです。

